



いわゆる、

●仕事のできる人 と

●そうでない人

の違いについて、お話をすることが結構あります

仕事のできる人には、どんな共通点があるのか、、、

相手の立場に立ってみるとすぐにわかりますが、

上司でも部下でも、顧客でも取引先でも、

一緒に仕事をしている人の中で、

「あ～、この人、仕事できるな～」って思う人と、

「この人と一緒に仕事をするときは、保険をかけなきゃ」

と思う人がいます。

この両者の違いを見てみると、実は、

1) 仕事の品質 (依頼者の期待レベル)

2) 仕事の納期

についての考え方や、

行動が全く違うということがわかります。

1) 仕事の品質（依頼者の期待レベル）

2) 仕事の納期

の二つについて、できている・できていないで分類をすると、

A)仕事の品質（依頼者の期待レベル）をクリアーし、

納期も守れる人

B)仕事の品質はクリアーできるが、

納期を守れない人

C)仕事の品質をクリアーできないが、

納期は守れる人

D)仕事の品質もクリアーできず、

納期も守れない人

の4つのパターンになります。

この中で「仕事ができる人」は、もちろん、

A)仕事の品質（依頼者の期待レベル）をクリアーし、

納期も守れる人

になります。

B,Cタイプの方は、仕事にムラがある人

Dタイプの方は、仕事のできない人

と思われます。シンプルです。

ではどうすれば「仕事ができる人」になるかといえば、

まず、上司や顧客や周りの方から仕事の依頼をされたら、

1) 品質（依頼者の期待レベル）を明確にする

・メモ1枚レベルか、パワポ10ページレベルか 等

2) 納期を確認する

・何日の何時までなのか

ことを確実にして、

1) 期待レベルよりちょっとだけ良いこと を

2) 納期よりもちょっとだけ早く提出する

ことを習慣化する（自分の当たり前にする）と、

周りの人たちから、「仕事できるね〜」って

言われる人になります。

「習慣化する」ところがポイントです。

社内でも、社外でも、



Twitter : <https://twitter.com/masatonishiyama>

blog : <http://ameblo.jp/nishiyama1968/>

